

赤十字は、 動いてる！

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、
活動を寄付で支援して下さる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。
人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも。これからも、ずっと。





避難所で巡回診療を行う救護班

国内災害への対応

日本赤十字社は令和6年能登半島地震では、1月1日の地震発災直後から、救護活動を行いました。発災翌日の1月2日から災害医療コーディネートチーム、および救護班（DMATを含む）を現地に順次派遣し、避難所や医療支援が届きにくい孤立した集落や施設へ向けての巡回診療を行いました。また、毛布や安眠セット、簡易トイレなどの救援物資を配布する活動も実施しました。令和6年9月能登半島大雨災害では、こころのケア班を中心としたチームを派遣し、被災された方や現地の支援者を対象にこころのケア活動を実施しました。義援金の受付も行ってあります。お寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。



避難者に手を添え、声をかける看護師



活動拠点である病院で関係機関と連携する救護班



避難所にてこころのケア活動を行う三重県のチーム



物資を運搬する赤十字ボランティアと救護班



早朝の救急外来で被災者の傷を縫合する医師

皆さまからのご支援により赤十字活動は支えられています。

1年に1度、一世帯当たり500円を目安としてご支援をお願いしています。

もしものの時の備えや日々の健康のために…
赤十字講習会を開催しています。

自治会・町内会をはじめとした地域の団体等を対象に実施していますので、ぜひ開催をご検討ください。



心肺蘇生やAEDの使い方

救急法・幼児安全法

とっさの時の応急手当の仕方や三角巾や身の回りのものを使った応急手当の仕方、搬送の仕方を学びます。幼児安全法では子どもに起こりやすい事故や病気の予防やその手当の仕方について学びます。



子どもの応急手当



風呂敷でリュックザックづくり

健康生活支援講習

高齢期における健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ技術を学びます。



溺れた人の救助

水上安全法

水の事故防止や溺れた人の救助・応急手当の方法を学びます。



ひなんじょうたいけん

赤十字防災セミナー

災害から身を守るための方法を具体的にイメージしながら学びます。



炊き出し

炊き出し

ハイゼックス袋を使った非常食の炊き出し実習を行います。



国際活動



191の国と地域に広がる赤十字ネットワークを生かし活動を続けています。



青少年赤十字



学校教育の中で赤十字の精神に基づき、さまざまな活動を展開しています。



医療事業



地域医療を支え、災害時には災害拠点病院として患者の受け入れや救護班を派遣します。



赤十字ボランティア



世代や分野を超えて連携し、地域課題の解決に向けて活動しています。



血液事業



献血ルームや献血バスで献血の受付や県内医療機関へ血液製剤の安定供給を行っています。



看護師育成

日本赤十字豊田看護大学において、人道的実現し、災害救護活動や国際救護活動などに従事できる看護師を育成しています。



社会福祉事業

社会的な支援を必要とする人の生活支援を行うとともに、皆が支え合える地域社会を目指します。

任意のご協力

町内会・自治会等を通じてご協力に加え、様々な方法で赤十字活動資金にご協力をいただくことができます。

●クレジットカード

Webサイトからの登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。



その他協力方法

●口座振替 ●郵便振替・銀行振込 ●遺産・相続財産

詳しくは、当支部ホームページをご覧ください。

日赤三重県支部 寄付



県民のみなさまへ

県民の皆さまには、平素から赤十字事業の推進に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社は、「災害からいのちを守る赤十字」として、被災者に寄り添った救護活動に取り組めるよう日頃から訓練や研修に努めています。平時には県内幼稚園・保育園の子どもたちから自治会の方々まで幅広い年代層の方々へ防災セミナー、救急法等の講習会、防災出前授業などを実施するほか、災害発生時には、発災直後から医療救護班を派遣し、被災者の支援活動を行っています。

令和6年12月には日本赤十字社三重県支部社屋を移転し、より質の高い被災者支援活動が実施

できるよう、災害救護支援センターの機能を備えた施設として運用を開始いたしました。

また、災害救護以外にも、日本赤十字社では国際活動、青少年赤十字事業、赤十字ボランティア活動、講習会事業、医療事業、血液事業など「苦しんでいる人を救う」ための活動を幅広く展開しています。

これらの活動は、ひとえに赤十字の趣旨に賛同くださる個人や法人の皆さまからお寄せいただくご支援により支えられています。

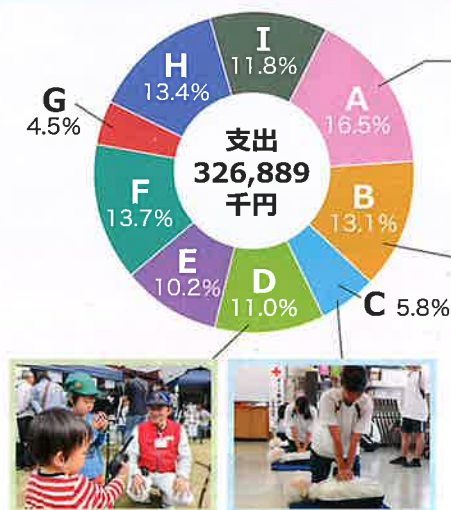
本年度におきましても、赤十字運動の理念と活動の普及に向け、活動資金への一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社
三重県支部 支部長

一見 勝之

皆さまからのご支援の使い道



	内 訳	予算額
A	災害救護活動体制の強化のために	53,885千円
B	海外での災害・紛争の緊急救援や開発協力のために	42,830千円
C	生命と安全を守る講習普及のために	18,941千円
D	赤十字ボランティアと青少年赤十字活動のために	35,832千円
E	赤十字思想普及のために	33,302千円
F	市町の赤十字活動のために	44,986千円
G	伊勢赤十字病院や血液センターの施設整備のために	14,677千円
H	支部業務運営のために	43,883千円
I	社屋・倉庫管理のために	38,553千円



大阪・関西万博へ

赤十字パビリオンを出展します！

開催場所 大阪 夢洲(ゆめしま)

開催期間 2025年4月13日(日)~10月13日(月)



スマホで
かんたん
アクセス

日本赤十字社三重県支部と赤十字血液センターが中勢北部サイエンスシティ内に移転しました。



公式
SNS



Instagram



日本赤十字社 三重県支部
Japanese Red Cross Society

〒514-0131 三重県津市あかつ台四丁目8番5 TEL059-264-7700 FAX 059-264-7701
<https://www.jrc.or.jp/chapter/mie/>

赤
十
字
施
設

伊勢赤十字病院

〒516-8512 伊勢市船江1丁目471番2

TEL 0596-28-2171(代表)

三重県赤十字血液センター

〒514-0131 三重県津市あかつ台四丁目8番5

TEL (0120)50-5632

四日市献血ルーム「サンセリテ」

〒510-0075 四日市市安島1-3-31 近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階

TEL (0120)39-5863

伊勢献血ルーム「ハートワン」

〒516-0008 伊勢市船江1丁目471-1 ミタス伊勢内

TEL (0120)25-7821